

柏下第 324 号
令和2年 12 月 15 日

国土交通大臣 殿

柏原市 下水道事業
柏原市長 富宅 正浩

社会資本総合整備計画の変更について

令和02年08月05日 付け 柏下第219号 で提出した、社会資本総合整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月15日

計画の名称	かしわら安全・安心な下水道整備計画(重点計画)(防災・安全)												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	柏原市												
計画の目標	雨水ポンプ場の改築更新計画策定率の向上												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	207	A	202	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.41	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
	H28当初	H30末	H32末	
1	柏原地域の雨水ポンプ場設備の改築更新計画策定率を0%(H28当初)から100%(R2末)に向上させる。 雨水ポンプ場設備における改築更新計画策定率 改築更新計画策定済みのポンプ場(箇所)/改築更新計画を策定すべきポンプ場数(箇所) [国分第1雨水ポンプ場、国分第2雨水ポンプ場、国分市場第1雨水ポンプ場]	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	ポンプ場	改築	国分第2雨水ポンプ場耐震化事業	耐震診断	柏原市						44	-	-	
	A07-002	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	ポンプ場	改築	ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画策定、更新設計	柏原市						112	-	策定済	
	個別施設計画名：下水道ストックマネジメント計画																			
	A07-003	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	管渠(雨水)	-	柏原市内浸水シミュレーション	既設管調査、浸水シミュレーション	柏原市							31	-	-
	A07-004	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	管渠(雨水)	新設	雨水整備事業	実施設計、整備工事	柏原市							10	-	-
	A07-005	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	ポンプ場	改築	国分市場第1雨水ポンプ場自家発電設備整備	実施設計	柏原市							5	-	-
												小計						202		
												合計						202		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	柏原市	直接	柏原市	管渠（ 雨水）	新設	柏原市内ハザードマップ の作成	内水ハザードマップの作成	柏原市						5	-	-
内水ハザードマップを作成することにより、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																			
											小計						5		
											合計						5		

事前評価チェックシート

計画の名称： かしわら安全・安心な下水道整備計画（重点計画）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携により、相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の緊急性 1) 地域住民の安全性が確保されるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の緊急性 2) 各地域の課題の解消となる計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 予算の確保が可能である現実的な事業費を見込んだ計画となっている。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	8	35	31	6	20
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	8	35	31	6	20
前年度からの繰越額 (d)	0	0	5	4	0
支払済額 (e)	8	30	32	10	20
翌年度繰越額 (f)	0	5	4	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					